大学番号：私立短大014

［令和２年度設置］
計画の区分： 短大の学科の設置

認可

大手前短期大学　歯科衛生学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　大手前学園
令和２年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　総合企画部　総合企画室
職名・氏名　次長　大江俊司（オオエ シュンジ）
電話番号　０７９８-３２-７５２１
（夜間）　０７９８-３２-５０４３
ＦＡＸ　０７９８-３２-７５３３
ｅ－mail　g-ad@otemae.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜歯科衛生学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人大手前学園

（２）大　学　名

大手前短期大学

（３）調査対象大学等の位置

〒６６２－８５５２
兵庫県西宮市御茶家所町６－４２
（〒６６４－０８６１　　兵庫県伊丹市稲野町２-２-２）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ フクイ　ヨウ ） 福井　要 （平成25年9月）		
学　　長	（ フクイ　ヨウコ ） 福井　洋子 （平成29年4月）		
学 部 長			
学科長等	（ ナカムラ　タカシ ） 中村　隆志 （令和2年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
歯科衛生学科 短期大学士（歯科衛生学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	年 3	人 70	年次 人 －	人 210	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） [　]	人 [　]	人 （　） [　]	人 [　]	人 （　） [　]	人 [　]	人 （　） [　]	人 [　]	人 70 （－） [－]	-人 [－]	1.10	－倍	
志願者数	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	139 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	135 （－） [－]	－ （－） [－]			
合格者数	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	82 （－） [－]	－ （－） [－]			
Ｂ　入学者数	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	77 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率Ｂ／Ａ									1.10				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	77 [－] (　　)	－ [－] (　　)	
２年次			[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　　] (　　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		77 [－] (　－　)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	77 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = 0\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = 0\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = 0\ \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = 0\ \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜歯科衛生学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎分野	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2								1
		基礎英語	1前	1								1
		コンピュータ演習	1前	1								2
		心理学	1前	2			1					
		医療倫理学	1後	2								1
		ダンスセラピー演習	2前	1			1					
		小計（7科目）	－	11	0	0	1	0	0	0	0	4
	専門基礎分野	解剖学	1前	2				1				
		栄養学	1後	2								1
		組織発生学	2後	2				1				
		生理学	1前	2				1				
		生化学	1前	2			1					
		口腔解剖学	2前	2				1				
		病理学	1前	2								1
		薬理学	1前	2				1				
		微生物学	1後	2			1					
		衛生学	1後	2			1					
		口腔衛生学	1後	2			1					
		公衆衛生学	2前	2			1					
		社会福祉論	2前	2								1
		小計（13科目）	－	26	0	0	1	1	0	0	0	3
	専門分野	歯科衛生士概論	1前	2			1					
		臨床歯科医学	2前	1			1					
		歯科保存学	2前	1			1					
		歯科補綴学	2前	1			1					
		小児歯科学	2前	1			1					
		矯正歯科学	2前	1								1
		高齢者・障がい者歯科学	2前	1			1					
		口腔外科学	2前	1				1				
		歯周病学	2後	1								1
		歯科予防処置論	1前	2				1				
		歯科予防処置Ⅰ	1後	2				1	6	3	1	
		歯科予防処置Ⅱ	2前	2			1		6	3	1	
		歯科予防処置Ⅲ	2後	2			1		6	3	1	
		口腔保健指導論	1前	2			1					
		歯科保健指導Ⅰ	1後	2			1		6	3	1	1
		歯科保健指導Ⅱ	2前	2			1		6	3	1	
		歯科保健指導Ⅲ	2後	1			1		6	3	1	
		歯科診療補助論	1前	2			1					
		歯科診療補助Ⅰ	1後	2			1		6	3	1	1
		歯科診療補助Ⅱ	2前	2			1		6	3	1	
		歯科診療補助Ⅲ	2後	2			1		6	3	1	
		歯科放射線・臨床検査学	2前	1								1
		基礎実習	1前	1				1	6	3	1	
		臨床臨地実習Ⅰ	2後～3前	12				1	6	3	1	
		臨床臨地実習Ⅱ	2後～3前	4				1	6	3	1	
		地域歯科保健実習Ⅰ	3前	2			1		6	3	1	
		地域歯科保健実習Ⅱ	2後～3前	1			1		6	3	1	
		小計（27科目）	－	54	0	0	3	1	6	3	1	5
	選択必修分野	介護技術の基礎	2・3後		2							1
		生命科学	2・3後		2							1
		医療英語	2・3後		1							1
		看護学概論	2・3後		2							1
		医療業界と保険制度	2・3後		2							1
		カルテ管理と会計	2・3後		2							1
		医療事務と情報管理	2・3後		2							1
		口腔保健管理法	2・3後		2		1					
		医療・介護多職種連携	2・3後		1							4
		ゼミナール	3後	2			3					1
		小計（10科目）	－	2	16	0	3	0	0	0	0	10
共通教育科目		フォーラムA	1前	1			4					
		フォーラムB	1後	1			4					
		基礎数学	1・2・3後		2							1
		日本史	1・2・3後		2							1
		人権の歴史	1・2・3後		2							1
		家族の法律	1・2・3後		2							1
		健康スポーツ	1・2・3後		1		1					
		食と健康	1・2・3後		2							1
		健康心理学	1・2・3後		2		1					
		ストレスマネジメント演習	1・2・3後		2		1					
		小計（10科目）	－	2	15	0	4	0	0	0	0	4
合計（67科目）			－	95	31	0	4	1	6	3	1	20

学位又は称号	短期大学士（歯科衛生学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎分野	生物学	1前	2								1
		化学	1前	2								1
		基礎英語	1前	1								1
		コンピュータ演習	1前	1								2
		心理学	1前	2			1					
		医療倫理学	1後	2								1
		口腔保健管理法	1後	2			1					
		ダンスセラピー演習	2前	1			1					
		小計（8科目）	－	13	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基礎分野	解剖学	1前	2				1				
		栄養学	1後	2								1
		組織発生学	2後	2				1				
		生理学	1前	2				1				
		生化学	1前	2			1					
		口腔解剖学	2前	2				1				
		病理学	1前	2								1
		薬理学	1前	2				1				
		微生物学	1後	2			1					
		衛生学	1後	2			1					
		口腔衛生学	2前	2			1					
		公衆衛生学	1後	2			1					
		社会福祉論	2前	2								1
		小計（13科目）	－	26	0	0	1	1	0	0	0	3
	専門分野	歯科衛生士概論	1前	2			1					
		臨床歯科医学	2前	1			1					
		歯科保存学	2前	1			1					
		歯科補綴学	2前	1			1					
		小児歯科学	2前	1			1					
		矯正歯科学	2前	1								1
		高齢者・障がい者歯科学	2後	1			1					
		口腔外科学	2前	1				1				
		歯周病学	2前	1								1
		歯科予防処置論	1前	2				1				
		歯科予防処置Ⅰ	1後	2				1	6	3	1	
		歯科予防処置Ⅱ	2前	2			1		6	3	1	
		歯科予防処置Ⅲ	2後	2			1		6	3	1	
		口腔保健指導論	1前	2			1					
		歯科保健指導Ⅰ	1後	2			1		6	3	1	1
		歯科保健指導Ⅱ	2前	2			1		6	3	1	
		歯科保健指導Ⅲ	2後	1			1		6	3	1	
		歯科診療補助論	1前	2			1					
		歯科診療補助Ⅰ	1後	2			1		6	3	1	1
		歯科診療補助Ⅱ	2前	2			1		6	3	1	
		歯科診療補助Ⅲ	2後	2			1		6	3	1	
		歯科放射線・臨床検査学	2前	1								1
		基礎実習	1前	1				1	6	3	1	
		臨床臨地実習Ⅰ	2後～3前	12				1	6	3	1	
		臨床臨地実習Ⅱ	2後～3前	4				1	6	3	1	
		地域歯科保健実習Ⅰ	3前	2			1		6	3	1	
		地域歯科保健実習Ⅱ	2後～3前	1			1		6	3	1	
		小計（27科目）	－	54	0	0	3	1	6	3	1	5
	選択必修分野	介護技術の基礎	2・3後		2							1
		生命科学	2・3後		2							1
		医療英語	2・3後		1							1
		看護学概論	2・3後		2							1
		医療業界と保険制度	2・3後		2							1
		カルテ管理と会計	2・3後		2							1
		医療事務と情報管理	2・3後		2							1
		医療・介護多職種連携	2後	1								4
		ゼミナール	3後	2			3					1
		小計（9科目）	－	3	13	0	3	0	0	0	0	10
共通教育科目		フォーラムA	1前	1			4					
		フォーラムB	1後	1			4					
		基礎数学	1・2・3後		2							1
		日本史	1・2・3後		2							1
		人権の歴史	1・2・3後		2							1
		家族の法律	1・2・3後		2							1
		健康スポーツ	1・2・3後		1		1					
		食と健康	1・2・3後		2							1
		健康心理学	1・2・3後		2		1					
		ストレスマネジメント演習	1・2・3後		2		1					
		小計（10科目）	－	2	15	0	4	0	0	0	0	4
合計（67科目）			－	98	28	0	4	1	6	3	1	20

学位又は称号	短期大学士（歯科衛生学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
＜卒業要件＞ ・3年以上在学し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、選択必修分野、共通教育科目より104単位以上修得すること。 ＜履修方法＞ ・基礎分野11単位、専門基礎分野26単位、専門分野54単位、選択必修分野7単位以上、共通教育科目6単位以上を含み合計104単位以上修得すること。 ・1年間に履修登録できる単位数の上限は52単位とする。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
＜卒業要件＞ ・3年以上在学し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、選択必修分野、共通教育科目より**106**単位以上修得すること。 ＜履修方法＞ ・基礎分野**13**単位、専門基礎分野26単位、専門分野54単位、選択必修分野7単位以上、共通教育科目6単位以上を含み合計**106**単位以上修得すること。 ・1年間に履修登録できる単位数の上限は52単位とする。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

科目区分、単位数（選択から必修）および配当年次の変更
・教育効果を考慮し、「口腔保健管理法」の科目区分、単位数および配当年次を「選択必修分野、選択、2・3後」から「基礎分野、必修、1後」に変更。
配当年次の変更
・教育効果を考慮し、「口腔衛生学」を「1後」から「2前」に変更。
・教育効果を考慮し、「公衆衛生学」を「2前」から「1後」に変更。
・教育効果を考慮し、「高齢者・障がい者歯科学」を「2前」から「2後」に変更。
・教育効果を考慮し、「歯周病学」を「2後」から「2前」に変更。
単位数および配当年次の変更
・教育効果を考慮し、「医療・介護多職種連携」を「選択、2・3後」から「必修、2後」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
50 科目	17 科目	0 科目	67 科目	52 科目 [2]	15 科目 [△2]	0 科目 [0]	67 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{67} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分	内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大手前大学（必要面積24,080㎡）と共用「近接地購入（２）」
	校舎敷地	0㎡	25,520.08㎡	1,251.23㎡ ~~1,232.74㎡~~	26,771.31㎡ ~~26,752.82㎡~~	
	運動場用地	0㎡	20,609.47㎡	0㎡	20,609.47㎡	
	小計	0㎡	46,129.55㎡	1,251.23㎡ ~~1,232.74㎡~~	47,380.78㎡ ~~47,362.29㎡~~	
	その他	0㎡	3,607.56㎡ ~~0㎡~~	0㎡ ~~2,754.06㎡~~	3,607.56㎡ ~~2,754.06㎡~~	
	合計	0㎡	49,737.11㎡ ~~46,129.55㎡~~	1,251.23㎡ ~~3,986.80㎡~~	50,988.34㎡ ~~50,116.35㎡~~	

（2）校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考
	2,812.02㎡	12,325.83㎡ ~~12,545.86㎡~~	11,271.30㎡ ~~11,051.27㎡~~	26,409.15㎡	大手前大学（必要面積<完成年度>13,923㎡、<開設時>13,923㎡）と共用「新築工事に伴なう建物解体のため（２）」
	5,547.98㎡ ~~(5,541.42㎡)~~	（17,377.85㎡）	13,660.85㎡ ~~(13,827.41㎡)~~	36,586.68㎡ ~~(36,746.68㎡)~~	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	32室	12室 ~~3室~~	11室	5室（補助職員　人）	室（補助職員　人）	大学全体「用途変更のため（２）」

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	歯科衛生学科	12 ~~11~~ 室	「用途変更のため（２）」

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	歯科衛生学科	1,006〔17〕 (1,021〔17〕) ~~(1,006〔17〕)~~	8〔1〕 (373〔136〕) ~~(8〔1〕)~~	0〔0〕 (363〔135〕) ~~(0〔0〕)~~	5 (13) ~~(5)~~	2,659 (2,659)	139 (139)	「医療関連の学術雑誌（電子ジャーナル含む）を大学と同時に整備したため（２）」大手前大学・大手前短期大学全体での共用分図書359,412冊[59,471冊]学術雑誌14,211種[12,121種]
	計	1,006〔17〕 (1,021〔17〕) ~~(1,006〔17〕)~~	8〔1〕 (373〔136〕) ~~(8〔1〕)~~	0〔0〕 (363〔135〕) ~~(0〔0〕)~~	5 (13) ~~(5)~~	2,659 (2,659)	139 (139)	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	3,167.34㎡	265	206,056	大学全体

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	851.16㎡	－	－	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,559 ~~6,600~~千円	300千円	300千円
共同研究費等	800千円	800千円	設備購入費	249,479 ~~250,000~~千円	1,000千円	2,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,390千円	1,190千円	1,190千円	― 千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、資産運用収入、雑収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「（５）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	大手前短期大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
歯科衛生学科	3	70	－	70	短期大学士（歯科衛生学）	1.10	1.10	－	令和２	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
ライフデザイン総合学科	2	150	－	350	短期大学士（ライフデザイン）	1.13	1.12	平成31 令和２	平成16	兵庫県伊丹市稲野町2丁目2番2号	入学定員変更（△50） 入学定員変更（△50）
大学全体	－	220	－	420	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	大手前大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合文化学部	4	190	2年次 4	776	学士（学術）	1.04	1.03	－	平成19	兵庫県伊丹市稲野町2丁目2番2号	
総合文化学科			3年次 2							兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
ﾒﾃﾞｨｱ・芸術学部	4	180	2年次 4	736	学士（学術）	1.08	1.07	－	平成19	兵庫県伊丹市稲野町2丁目2番2号	
ﾒﾃﾞｨｱ・芸術学科			3年次 2							兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
現代社会学部	4	220	2年次 4	896	学士（学術）	1.12	1.12	－	平成19	兵庫県伊丹市稲野町2丁目2番2号	
現代社会学科			3年次 2							兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
現代社会学部	4	500	3年次 500	3,000	学士（学術）	0.19	0.24	－	平成22	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
現代社会学科（通信教育課程）								－			
健康栄養学部	4	80	3年次 16	352	学士（栄養学）	0.95	0.67	－	平成28	大阪府大阪市中央区大手前2丁目1番88号	
管理栄養学科								－			
国際看護学部	4	80	－	160	学士（看護学）	1.02	1.00	－	平成31	大阪府大阪市中央区大手前2丁目1番88号	
看護学科								－			
大学全体	－	1,250	534	5,920	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	大手前大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
比較文化研究科 比較文化専攻 （博士前期課程）	2	10	－	20	修士 （学術）	0.35	0.30	－	平成8	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
比較文化研究科 比較文化専攻 （博士後期課程）	3	3	－	9	博士 （学術）	0.33	0.33	－	平成10	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
大学院全体	－	13	－	29	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和元年）	１．臨地実習先の選定について、医療安全対策や院内感染防止対策等に係る適切な基準を設けるとともに、当該基準に基づいた臨地実習先の選定を確実に実施すること。	遵守事項	隣地実習先の選定については、臨地実習施設の責任者に対し実習指導体制、実習施設設備および医療安全対策・院内感染防止対策について、本学歯科衛生学科の専任教員が現地にてヒアリングを行い、本学が求める基準を充足しているかを確認し、実習先の選定を行っている。本学が求める適切な選定基準は、別紙添付資料のとおりである。（別添資料①）（２）	履行中	
認　可　時 （令和元年）	２．臨地実習をより充実したものとするため、基礎分野に係る知識等に対する学生の理解に不足が生じることのないよう、臨地実習開始時までに適切に教育を実施すること。	遵守事項	臨地実習をより充実したものとするため、基礎分野に係る知識等に対する学生の理解に不足が生じることのないよう、臨地実習開始時までに適切に教育を実施する必要がある。そのため入学前教育として、入学予定者全員に理科・数学の課題を与え基礎学力のチェックと復習を行うとともに、基礎分野に臨地実習の基礎として必要な授業科目をバランスよく配置した。また歯科衛生士が臨地・臨床の場で個々の患者に適した口腔保健管理プログラムを作成し、実践できる能力の習得を目指し2年次秋学期に配置していた臨地実習に必須な基礎科目である「口腔保健管理法」を、１年次秋学期科目として配置し、基礎分野に係る知識等に対する学生の理解に不足が生じることのないよう、臨地実習開始時までに適切に教育を実施することとした。（２）	履行中	
認　可　時 （令和元年）	３．専門科目の「選択必修分野」に配置した「医療・介護多職種連携」について、その教育内容等に鑑みて学生全員に履修させるよう指導するのであれば、「必修科目」として配置することが望ましい。	助言事項	教育課程における「専門教育科目」の「選択必修分野」区分に、「医療・介護多職種連携」を「必修科目」として配置する。厚生労働省が２０２５年を目途に導入を進めている「地域包括ケアシステム」は、医療多職種連携による「チーム医療」を推進しており、医療の質や安全性の向上及び高度化、複雑化に伴う業務の増大に歯科衛生士として対応するため、「医療・介護多職種連携」については、学生全員に履修させるよう「必修科目」として配置する。（２）	履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜歯科衛生学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①入学前オリエンテーションの実施	①新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、入学後のオリエンテーションに内容を集約して実施した。
②シラバス	②新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け5月下旬頃までは学内立入禁止となり、授業は一部休講とするほか、遠隔授業等非対面での実施となった。これにより1年次春学期開講授業科目のシラバスと実際の授業内容が一部変更となったが、当初予定していた達成度及び学習成果は十分に得られるよう進めていく。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学にてFD委員会を設置し、学長が指名した者を委員長とし、学科から選出され教学運営評議会で承認された教員若干名で組織する。（別添資料②）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2019年度の本委員会の開催状況は以下の通りである。

第１回　平成31年4月16日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者４名
第２回　令和元年5月14日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第３回　令和元年6月11日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第４回　令和元年7月9日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第５回　令和元年9月10日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第６回　令和元年10月8日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第７回　令和元年11月12日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第８回　令和元年12月10日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第９回　令和2年1月14日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名
第10回　令和2年2月10日（月）　出席委員５名　欠席委員１名　陪席者２名
第11回　令和2年3月10日（火）　出席委員６名　欠席委員０名　陪席者３名

ｃ　委員会の審議事項等

・2019年度FD/SD実施方針について
・地域貢献活動の実施内容について
・学習プログラムの実施内容について
・地域貢献活動報告会の実施内容について
・地域貢献活動に係る単位授与について
・FD委員会活動について

②　実施状況

ａ　実施内容

・FD/SDセミナーの開催
・全授業科目に対する「学生による授業アンケート」の実施
・リアルタイム授業評価システム（C-POS）の実施
・卒業生アンケートの実施

ｂ　実施方法

・FD/SDセミナー

FD委員会において、年度内のFDセミナー開催日程及び内容等を関連委員会等と連携を図りながら協議、検討し、実施している。また、SD（職員研修）に関しても、学長、副学長及び学科長等執行部の教員に参加を依頼し、教職協同の相互理解のもと、様々な学修支援に繋げている。

・全授業科目に対する「学生による授業アンケート」の実施

毎学期末に非常勤教員も含め、全授業科目について「学生による授業アンケート」を実施している。

・リアルタイム授業評価システムの実施

毎学期の途中期間に2回、全専任教員及び一部の非常勤教員の授業において、携帯電話を使用したリアルタイム授業評価システム（C-POS)を実施。授業終了後即座にアンケート結果を確認することができるため、次回の授業運営改善に繋げることができる。

・卒業生アンケートの実施

毎年度卒業式当日、卒業生全員に対し、本学での学びについてのアンケートを実施している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

・FD

第１回	令和元年9月20日（金）	「学校教育と著作権」	8名/16名
第２回	令和2年2月26日（水）	「短大教育とアート＆デザイン」	15名/16名

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎学期末に実施している「学生による授業評価アンケート」では、その分析結果を掲載した報告書を本学のポータルサイト及びWEBサイトにおいて公表し、授業改善に努めている。また、携帯電話によるリアルタイム授業評価システム（C-POS)では、実施後直ちに評価を確認し次の授業で改善がなされたかを再度確認できる。授業改善が主たる実施目的であるが、教育活動の評価としても有効に活用している。

その他、卒業式での卒業生に対するアンケート実施では、集計結果を教授会で報告し全教職員で共有し、改善に努めている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

毎年、春学期は7月に、秋学期は1月に全授業科目を対象として実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、授業科目ごとに集計し、各教員へフィードバックするとともに、学生からの自由記述等に対しては各教員がコメントを記すようにしている。集計後は、学内のLMSシステムであるel-Campusにより教職員及び学生に授業科目ごとのアンケート結果を公表している。本システムは総合学修支援システムであり、学生へのお知らせ、休講情報、授業での配布資料、課題の提出等学生個人のポータルサイトとして活用している。

また、アンケートの集計結果は、本学WEBサイト上にも掲載し、広く一般に公表している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

歯科衛生学科は開設したばかりであるため、設置の趣旨・目的の達成状況に関して、点検・評価活動はまだ実施していない。

新入生77名に対しては、学力レベルのチェックと基礎学力強化のため、入学前学習を実施している。具体的には、入学後の授業で特に必要と思われる基礎知識として数学及び理科の2科目について、ワークブックを入学予定者全員に配布し、入学までに指定した範囲の自己学習を課している。入学後は、1年次春学期の必修科目である「フォーラムＡ」の授業において、数学及び理科の基礎学力テストを実施し、理解度を確認し、理解が不十分であったところを復習するようにしている。

また、学習環境面では、歯科衛生学科の大部分が使用する学舎の改装も無事開設前に完了し、歯科衛生士養成施設として必要な講義室及び実習室等を整備し、授業で必要な実習器具類、材料等もすべて準備は完了している。

ただし、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、5月下旬頃までは学内立入禁止となり、授業も休講や対面授業での実施ができなくなった。学内立入禁止期間中はすべての授業を遠隔授業等に変更して実施しており、シラバスに記載した通りの内容及びスケジュールでは進んでいない。今後、通常の授業運営が可能となれば従来の実施方法に戻ることになるが、いずれにしろ単位の修得に必要な学修時間を確保し、当初予定していた到達度及び学習成果は十分に得られるよう進めていく。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・令和３年６月１日　公表予定

ｂ 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和３年６月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和２年に評価機関（大学・短期大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和２年度）

ａ 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
ｂ 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕
ｃ 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
ｄ 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。